

## 令和2年度入学式 式辞

美しい紫陽花が咲く季節となりました。本日、この佳き日に、大阪府立鳳高等学校第75回入学式を挙行できますことは、この上ない喜びです。ただ今、入学許可宣言をいたしました320名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症への感染予防のため、入学許可宣言は本日まで延期となっていました。皆さんは、厳しい入学選抜を乗り越え、4月1日に晴れて鳳高校の第75期生とられました。本校を代表して、皆さんを心より歓迎いたします。本校は、令和3年に創立100周年を迎える歴史と伝統ある学校であり、これまで3万人を超える卒業生、そして各界で活躍する多くの人材を輩出してきました。まずこのことに大きな誇りをもってほしいと思います。

また、本日は、ご来賓の方々や保護者の皆様のご臨席は残念ながらありませんでしたが、今日まで

皆さんの成長を支えてこられた保護者の皆様のお喜びはいかばかりかと拝察しています。高いところからではありますが、心よりお慶びを申し上げたいと思います。

今年、学年の初めから、府立高校に於いて休校措置が続ききました。世の中の多くの活動が制限され、東京オリンピックの延期も早々に決定されました。既に出場が内定していた代表選手達にはショッキンクな出来事と思いますが、そのような中であつても、例えば陸上競技の桐生祥秀（きりゆう よしひで）選手は「開催がいつになろうと、来たるべきタイムングで最高のパフォーマンスを發揮し、皆さまに感動を届けられるようしっかり準備していきま

す。」とコメントされています。また、ウエイトリフティングの三宅宏実（みやけ ひろみ）選手は、「心はずーん」と落ち込んだ。」と率直な胸の内を語りつつも、練習をしたらウエイトリフティングが好

きだと再確認ができ気持ちがつきりした。1年をボーナスの1年と思えるように気持ちを調整していきたい。」とコメントし、延期をプラスにとらえようとされています。

活動の自粛等が続く中、オリンピックの代表選手達だけではなく、年齢や立場の異なる人々が、それぞれにコメントを発表されています。それらのコメントに共通しているのは、自分の置かれた環境の中で、今の自分にできることを探し、そのことに全力で取り組もうという姿勢です。強く前向きなメッセージには改めて希望と勇気を与えられます。皆さんの登校が始まった最初の日、私から皆さんに、中国の古典、論語にあります 君子固（もと）より窮す。小人（しょうじん）窮すれば斯（こ）こに濫（みだ）。（衛霊公第十五）という一節を紹介しました。皆さんには、これからの長い人生の中で、たとえ困惑することがあっても、決して心まで乱れることなく、自らの言動をコントロールしながら前向

きに対処できる心の強さを身につけてほしいと思います。

さて、本校の生徒となった新入生の皆さんが生きる、これからの社会の姿として、ソサエティー5・0が提唱されています。これは、先端技術の発達やグローバル化のさらなる進展など、急激な社会的変化の中で、様々な知識や情報を共有することにより、今までにない新たな価値を生み出していこうという考え方です。こうした時代にあっては、自ら進んで変化に向き合い、他の人々と共に課題を解決していく自主性のもとより、多様な文化や価値観を受容し、新たな価値につなげていく豊かな感性がこれまで以上に求められます。

現代の社会には数多の情報があふれ、パソコンや携帯電話等の普及もあり、多くの知識や情報が簡単に手に入るようになりました、このような時代だからこそ、皆さんは、それらの情報を広い視

野から俯瞰し、本当に自分に必要な正しい情報を  
見極める力を培っていかなくてはなりません。今  
後の社会の変化を見据え、新たな学びへの進化を  
めざして改訂された学習指導要領においては、知  
識及び技能と思考力、判断力、表現力等をバラ  
ンスよく身につけることに加え、知識の理解の質を  
更に高め、確かな学力を修得することが求められ  
ています。本年度末から新たに導入される大学入  
学共通テストにおいても、思考力・判断力・表現  
力が重視されることとなります。

皆さんが学ぶこの鳳高校は、全日制普通科単位  
制という、特色のあるシステムを有する学校であ  
り、すべての生徒が学習する科目に加え、140  
もの選択科目を設置しています。私たち教職員  
は、皆さんが、本校の多様な学びに積極的に取り  
組むことで、将来の進むべき道を見定め、その道  
を高い志を持って歩んでいけるようサポートして  
いきます。本校での高校生活は、これまで皆さん

が経験してきた以上に、多くの学びの機会を皆さんに与えてくれるでしょう。皆さんには、本校において、幅広く深い教養を身につけ、確かな学力を習得し、知性を磨いてほしいと思います。

最後に、第75期生の皆さんが、たくましく成長し、天高く翔る（てんたかくかける）「鳳凰のよう」に力強く羽ばたいてくれることを、そして、本校の伝統を受け継ぎ、次の100年への架け橋となってくれることを期待して式辞といたします。

令和2年6月15日

大阪府立鳳高等学校 校長 田中肇